

【活用にあたって】

国語の指導書などには「熟語の成り立ちを知ることは、熟語を構造的に認識する能力を伸ばすだけでなく、言葉の理解を促し、熟語の使用や習得をより効果的に行わせることにつながっていく」といった記載がみられます。

そのために学習を進めるのですが、6年生にもなると児童各自の漢字の理解度に差が生まれていることが多いので、目標達成には工夫した指導が求められると思います。

頭の中で考えるのではなく記事から探すことで、どの児童も同じように学習活動ができるという良さがあります。どんな成り立ちでできた熟語であるかという判断は、辞書を活用したり仲間と話し合ったりしていくことで仲間と関わりながら進める主体的な学びにもつながると思います。

解答例

問1 : 新任務 ・ 安保法 ・ 防衛省

問2 : 戦闘

問3 : 矛盾

発展 : A 直後 内部 国会 成立 他国など

B 安全保障関連法 国連平和維持活動

国会審議 陸上自衛隊 現場指揮官など